





# 目次

目次.....	1
はじめに.....	2
メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について.....	7
ホームIPロケーション機能のご使用条件.....	8
セキュリティ・スキャン機能に関する許諾について.....	10
安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	11
本製品の故障を防ぐために.....	19
1. データおよび無線 LAN セキュリティについて.....	21
2. セキュリティ・スキャン機能.....	23
3. 箱の中身.....	25
4. 各部の名称.....	27
5. 設置スペース.....	29
6. 本製品の設置.....	33
7. ネットワーク接続.....	36
8. 初期設定.....	37
9. アクティベーション.....	43
10. OPT2 スイッチでファームウェアを更新する.....	46
11. 初期化.....	48
12. USB デバイスの固定について.....	50
13. 外付けアンテナの取り付け.....	52
14. 製品仕様.....	54
15. ソフトウェア使用許諾契約書.....	55
16. お問い合わせ先.....	57

Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。

ホーム IP ロケーションは、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2020

NEC プラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# はじめに

このたびは Aterm SA3500G をご利用いただき、まことにありがとうございます。  
ございます。

## 動作モードについて

動作モードの初期値は「ブリッジ」です。

動作モードは「ブリッジ」から「ルータ」に変更できますが、ルータモードの設定にはネットワーク環境に関する専門的な知識を必要とします。

ルータモード機能の説明、および設定手順については、「機能詳細マニュアル」を参照してください。

## 無線 LAN 機能について

無線 LAN 設定については、「機能詳細マニュアル」の「無線 LAN の設定」の章を参照してください。

## 電波に関する注意事項

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す。）が運用されています。
  - (1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - (2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。
- 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。

- IEEE802.11n,IEEE802.11g,IEEE802.11b通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS / OF4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す

DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本製品を 2.4GHz 帯で使用し、チャンネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。

「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」

ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。

(使用チャンネルの設定方法は「機能詳細マニュアル」を参照してください。)

- デュアルチャンネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。

- ・デュアルチャンネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
- ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

## 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お問い合わせ先にご相談ください。

## 廃棄方法について

この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化を有償にて行っています。

詳細については、こちらのページ

<https://jpn.nec.com/eco/ja/recycle/method/it/>（2020年10月現在）をご覧ください。

（使用済み製品はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済み製品の回収にご協力ください。）

本製品を廃棄するときは、秘密情報の流出を回避するため、本製品に設定した内容やログ情報を消去する初期化を行ってください。初期化の方法は、「11. 初期化」の章を参照してください。

## 本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

お客様は、GPL、LGPL または Sleepycat License に基づき当該ソフトウェアのソースコードを入手、複製、頒布および改変することができます。

配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、GPL/LGPL/Sleepycat License が適用されるソースコードの複製物を提供いたします。詳細は、次の URL を参照してください。

- [https://www.necplatforms.co.jp/product/security\\_ap/opensource/uTmvhW/sa3500g.html](https://www.necplatforms.co.jp/product/security_ap/opensource/uTmvhW/sa3500g.html)

## 制限事項および免責事項

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたら、お問い合わせ先にご連絡ください。
- (4) 本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっても能力を発揮できません。本書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。
- (7) 本製品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps の方式による接続を推奨します。
- (8) 本製品はネットワーク上の脅威に対してそのリスクを低減させるための製品ですが、導入によりその脅威を完全に排除することを保証するものではありません。
- (9) 本製品のセキュリティ・スキャン機能を利用するためには、インターネット接続環境が必要です。
- (10) ライセンス契約期間を超えると、本製品は一切のセキュリティ・スキャン機能を停止いたします。

## 無線 LAN に関する免責事項

- (1) 無線 LAN の規格値は、本製品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- (2) 本製品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- (3) 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。



# メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本製品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本製品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページ（<https://www.necplatforms.co.jp/>）の「ニュース欄のお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本製品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本製品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバーへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本製品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能の初期値は有効（「使用する」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、「機能詳細マニュアル」の「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」の章を参照し機能を無効化してください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

# ホームIPロケーション機能のご使用条件

ここでは、当社が提供するホームIPロケーション機能の使用条件を記載しています。

ホームIPロケーション機能を使用する場合は、機能を有効にする前に、こちらのご使用条件をご確認ください。機能を有効にされた場合は、ご使用条件にご同意いただけたものといたします。

ホームIPロケーション機能は、本製品をご使用になるお客様に、より便利にお使いいただけるよう、インターネットからホームIPロケーション名で本製品へのアクセスを可能とする機能です。

本機能は、以下の場合に有効になります。

- ルータモードに設定されている（初期値：「ブリッジモード」）
- WAN 側にグローバル IP アドレスが付与されている
- メンテナンスバージョンアップ機能が「ON」になっている（初期値：「ON」）
- ホームIPロケーション機能が「ON」になっている（初期値：「OFF」）

なお、機能が有効となる条件を満たしても、本製品へのアクセスが可能になるまで 1 時間程度要する場合があります。

また、ホームIPロケーション名は、本製品固有の名前になり、変更することはできません。

## 1. 使用权

本機能の提供は、本製品をご使用いただいているお客様に対して行います。また、本製品を転売等された場合は、新たに本製品を所有されるお客様が本機能をご使用いただけます。

## 2. 禁止行為

本機能は、違法行為または以下の行為をされる場合、ご使用いただけません。

当社が機能使用に適さないと判断した場合、予告なく機能を停止させていただきます。

- (1) 公序良俗に反する行為
- (2) 営利目的に使用する行為
- (3) 第三者の権利を侵害する行為またはその恐れのある行為
- (4) 本機能の運営を阻害する行為またはその恐れのある行為
- (5) 本機能を使用する権利を第三者に移譲する行為
- (6) 本製品の偽装をする行為

### 3. 免責事項

当社は本機能を提供するにあたり、機能の提供維持、安定化に努めますが、当社の対応は下記のものとなります。

#### (1) 本機能の損害賠償

本機能によるお客様が被る損害については、いかなる場合も当社は一切の責任を負いません。

#### (2) 本機能の保証範囲

本機能は本製品と当社サーバーにて機能動作を確認し、保証するものとなります。本機能ご使用にあたり、お客様のご使用環境に起因する機能、性能の動作保証やお客様のデータや機器に関する保証については、当社は一切の責任を負いません。

#### (3) 本機能の中断、停止

やむを得ない理由または当社の都合により、本機能の中断・停止を予告なく行うことがあります。

#### (4) 本条件の変更

本条件の改定を予告なく行うことがあります。

### 4. 機器情報の扱い

この機能に必要な本製品の機器情報を当社のサーバーに通知いたします。

#### (1) 通知される機器情報

- ・ お客様がご使用になっている本製品の機器情報
- ・ お客様がご使用になっている本製品のネットワーク情報

#### (2) 情報利用の目的について

本機能の実現と本製品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。

お客様の機器情報は、本機能およびメンテナンスバージョンアップ機能を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。

#### (3) 情報の管理

当社が利用するお客様の情報につきましては、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。

当社が第三者と連携して実施する本機能につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

### 5. その他

本機能は国内法に従い対応します。また、関連した紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意所轄裁判所とします。

# セキュリティ・スキャン機能に関する許諾について

本製品を使用する前に、必ずご確認ください。

本製品を使用する場合は、本機能に関して許諾いただいたものといたします。

セキュリティ・スキャン機能は、脅威検出を行うために、インターネットを介して以下の処理を行います。

- セキュリティ・スキャン機能で使用する情報ファイル（ウイルス情報など）の自動アップデート
- インターネットアクセスする URL の確認


従量制課金契約の場合、情報ファイルのダウンロードによる通信費用が発生したり、パケット通信量超過による速度制限が発生したりします。発生した通信費用はお客様ご負担となります。


本機能では、本製品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報をサーバーへ通知します。これらの情報は、本機能の実現のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して実施する本機能につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

 **警告**：人が死亡する、または重傷<sup>(※1)</sup>を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**：人が軽傷<sup>(※2)</sup>を負う可能性が想定される内容、および物的損害<sup>(※3)</sup>のみの発生が想定される内容を示しています。

(※1) 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

(※2) 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

(※3) 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指す。

## 図記号の説明

### ■ 警告・注意を促す記号



一般注意



破裂注意



発火注意



感電注意



高温注意

### ■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止

### ■ 行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け



## 警告

### 電源

- 日本国内 100V AC の電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。



- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。



- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本製品に添付のものをお使いください。また、本製品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



- 本製品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。



- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。



- 本製品の AC アダプタは屋内専用ですので、屋外で使用しないでください。雨水などがかかり、感電、故障の原因となります。



- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。



## こんなときには

- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、お問い合わせ先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本製品を水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらしたりした場合は、すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。



- 万一、本製品を落としたり破損したりした場合は、すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。



- 本製品は人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



- ぬれた手で本製品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。





- 本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。



## その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医用電気機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



- 本製品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 湯沸かし器や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 温泉地など、硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多い場所で使用しないでください。本製品の寿命が短くなる可能性があります。












- 本製品の使用中や使用直後に、本製品本体やコネクタなどの突起物が高温になる場合があります。特に、本製品は金属ケースで覆われており、やけどなどの恐れがありますので注意してください。



## 注 意

### 設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本製品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 本製品は温度 0～40℃、湿度 10～90% の結露しない環境でご使用ください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。  
また、本製品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

●通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんや布団の上に置く
- テーブルクロスなどを掛ける



●本製品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。縦置きでご使用になる場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本製品の周囲に十分なスペースを確保してください。



●本製品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因となります。



## 電源

●本製品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



●本製品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となります。



●本製品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



●移動させる場合は、本製品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本製品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。



●本製品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。



## 禁止事項

●雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。落雷による感電の原因となります。



●本製品に乗らないでください。壊れてけがの原因となることがあります。



●オプションの外付けアンテナ利用時は、外付けアンテナで誤って目を傷つけないように注意してください。



●外付けアンテナを持って本製品を持ち上げたり移動したりしないでください。故障や破損の原因となることがあります。



# 本製品の故障を防ぐために

本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招いたりする内容を示しています。

## 設置場所

- 次のようなところへの設置は避けてください。
  - 振動が多い場所
  - 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本製品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れたりするなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本製品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本製品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

## 禁止事項

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本製品が正常に動作しないことがあります。
- 本製品を移動するときは、接続コードを外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になったりすると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本製品の電源を切った後、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

## 日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本製品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

# 1. データおよび無線 LAN セキュリティについて

## データの破損について

- 通信中に本製品の電源が切れたり、本製品を取り外したりすると、通信エラーが生じて、データが壊れることがあります。

## ログ送信機能ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

本製品のログ送信機能を使用する場合は、Syslog サーバとのデータの通信経路を暗号化するなどセキュアな通信経路を設定してください。

セキュリティ対策をほどこさずセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、Ethernet ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、  
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報  
メールの内容  
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）

等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。



## 2. セキュリティ・スキャン機能

本製品は、次のセキュリティ・スキャン機能を提供します。

### ●ファイアウォール

インターネットから社内ネットワーク（LAN）に入ってくるデータを通過させるか遮断するかを判断して、外部からの不正アクセスを防止します。

### ●アンチウイルス

ウイルスおよび危険なコードが含まれるプログラムを無害化します。ホームページ閲覧時やメール送受信、その他のアプリケーションの通信を監視し、ファイルにウイルスや危険なコードが混入している場合はファイルを無害化します。

### ●不正侵入防止

社内イントラネットなどのネットワークに対する不正侵入や攻撃を感知し、防御することで、セキュリティ対策レベルを向上させます。

### ●Web ガード

蓄積されたシグネチャにより、フィッシングサイトや閲覧によってウイルス感染をするサイトなど危険なサイトへのアクセスをガードします。

### ●URL フィルタリング

あらかじめ設定されている Web サイトのカテゴリーを指定することで閲覧の制限を行います。

これにより、有害サイトや業務に無関係なサイトへのアクセスをブロックします。

### ●URL キーワードフィルタリング

あらかじめ特定の文字列を登録しておくことで、Web 閲覧時において、該当の文字列が含まれている URL のページへのアクセスをブロックします。

## ●アプリケーションガード

ファイル交換ソフトや動画共有アプリ、メッセージングアプリなど、不特定多数の個人が情報交換可能なアプリケーションの利用を制限します。これにより、セキュリティ対策を行っていない相手や悪意のある相手からのウイルス感染と情報漏えいを防止します。

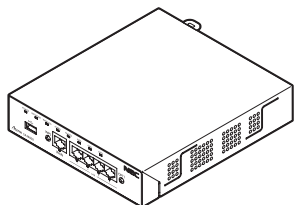
セキュリティ・スキャン機能の詳細情報は「機能詳細マニュアル」の「機能仕様」の章を参照してください。

### 3. 箱の中身

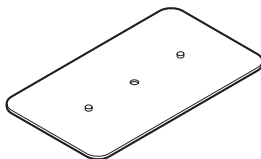
添付品がすべてそろっていることを確認してください。

添付品で不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

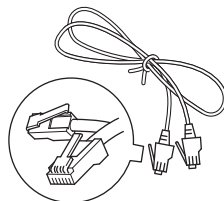
SA3500G



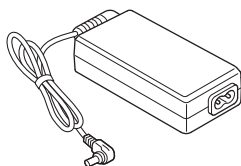
スタンド



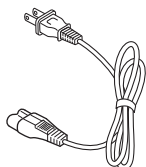
Ethernet ケーブル  
(ストレート、約 2m)



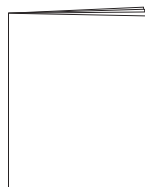
AC アダプタ



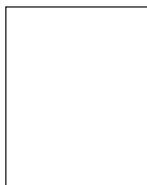
電源コード



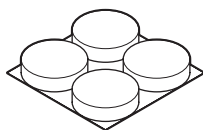
取扱説明書 (本書)



本製品のご使用条件



ゴム足 (4個)



スタンド固定ネジ (1本)

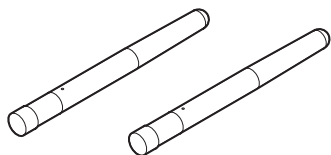


#### 警告

AC アダプタおよび電源コードは、必ず本製品に添付のものをお使いください。また、本製品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

## オプション

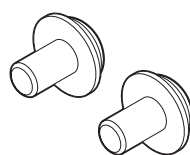
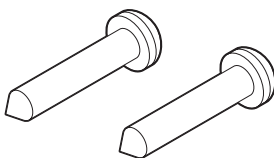
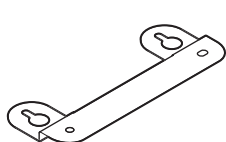
外付けアンテナ (2本1組) (品番: ZA-SA/AN1)



壁掛けキット (品番: ZA-SA/MK1)

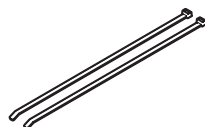
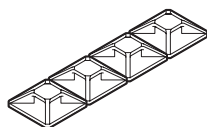
・ 壁掛け金具 (1個) ・ 木ネジ (2本)

・ 壁掛け金具固定ネジ (2本)



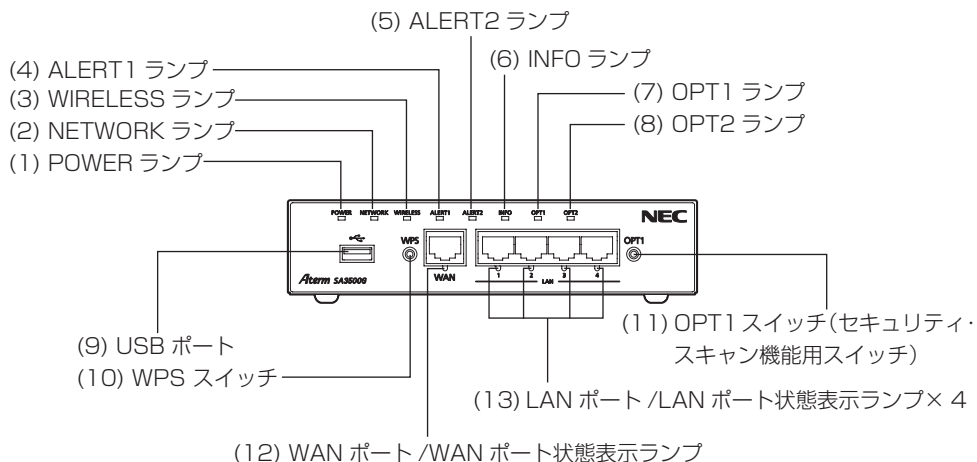
USB クランプキット (品番: ZA-SA/UC1)

・ USB 抜け防止用固定具 (4個) ・ USB 抜け防止用ケーブルバンド (2本)



# 4. 各部の名称

## 前面図



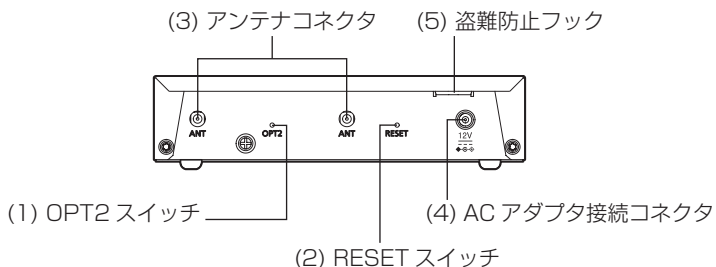
※ ランプ表示および設定スイッチの詳細は「機能詳細マニュアル」を参照してください。

## ポート

名称	表示	説明
(9) USB ポート※ <sup>1</sup>		USB 機器を接続するためのポートです。
(12) WAN ポート	WAN	ルーター / ブロードバンドモデムなどと接続します。
(13) LAN ポート	LAN	パソコンなどへ Ethernet ケーブルで接続します。


※ 1 USB 機能の詳細は「機能詳細マニュアル」を参照してください。

## 背面図



※ 設定スイッチの詳細は「機能詳細マニュアル」を参照してください。

## その他

名称	表示	説明
(3) アンテナコネクタ※ <sup>1</sup>	ANT	別売オプションの外付けアンテナを 2 箇所へ取り付けます。 1 箇所だけの取り付けでは性能が発揮されませんのでご注意ください。
(4) AC アダプタ接続コネクタ		AC アダプタを接続します。
(5) 盗難防止フック	—	盗難防止用カギ取付穴です。市販のセキュリティワイヤ※ <sup>2</sup> を取り付けることで、本製品を盗難から守ります。

※<sup>1</sup> このコネクタは、無線 LAN を利用するとき、通信カバーエリアを広くできるオプション（別売）として用意する外付けアンテナの取り付けに使用します。本製品は、装置の中に内蔵アンテナが設けられていますので、外付けアンテナを取り付けなくても、無線 LAN を利用することができます。

※<sup>2</sup> このセキュリティワイヤは、カギの形状によってフックに入らない場合があります。セキュリティワイヤの選定では、カギの形状にご注意ください。

## 5. 設置スペース

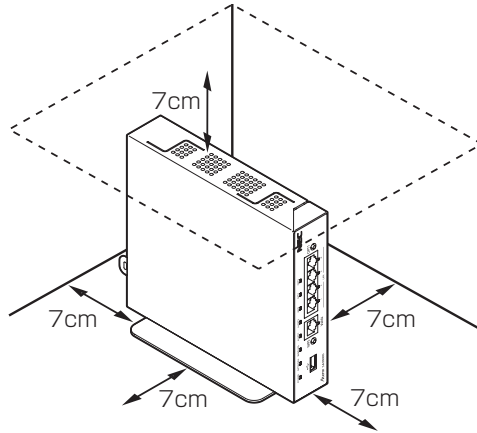
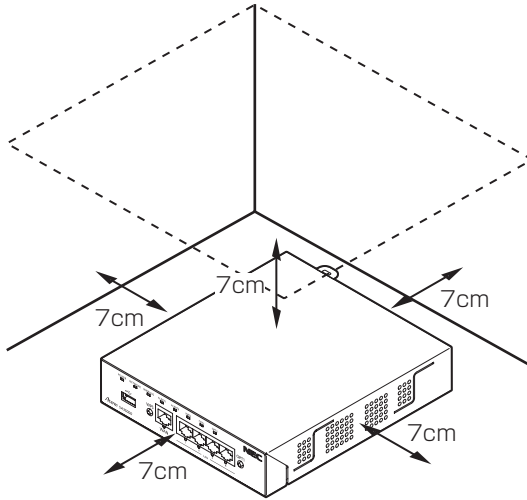
本製品は、前後左右 7cm、上 7cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。（底面、壁掛けの場合は壁掛け面を除く）

### 警告

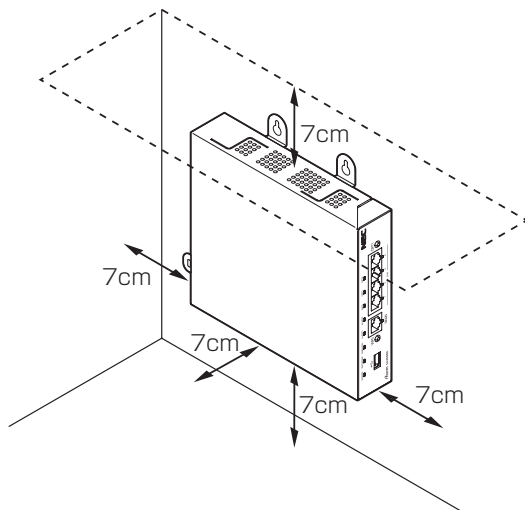
- 本製品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。万一、本製品を落としたり破損した場合は、すぐに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。

### 注意

- 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因となります。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる場所に設置してください。ネジが外れ落下し、故障、けがの原因となります。
- 壁掛け設置されている状態で、本製品にケーブルを接続したり、スイッチの操作などを行う際には、必ず本製品を手で支えながら行ってください。落下すると、故障、けがの原因となります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



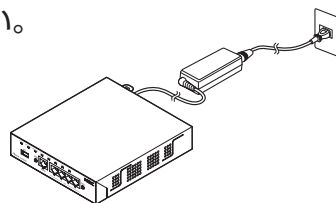




## 警告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本製品に添付のものをお使いください。また、本製品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。
- 本製品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせで使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。



## 注 意

- 無線の内蔵アンテナは、筐体の側面にある「」形のスリット部になります。この周辺にものを置かないでください。
- 外付けアンテナを使用する場合は、外付けアンテナが壁に接触しないように設置してください。
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本製品の上にものを置いたり、重ね置きはしないでください。

## 6. 本製品の設置

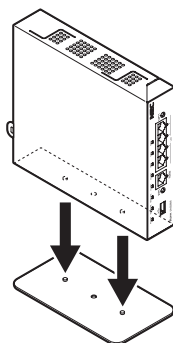
### 準備

プラスドライバーをご用意ください。

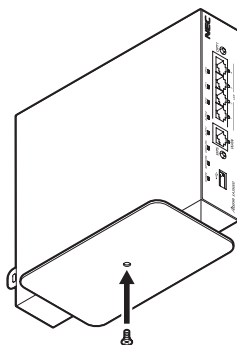
### 縦置きの場合

(1) スタンドを本体側面に差し込みます。

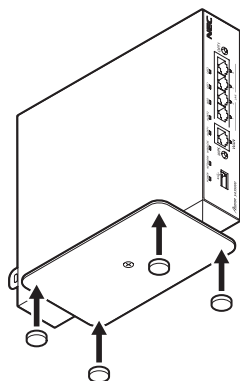
スタンドの凸部を本体側面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。



(2) スタンドと本体側面を添付のスタンド固定ネジで固定します。



(3) 添付のゴム足をスタンド裏面に貼り付けます。



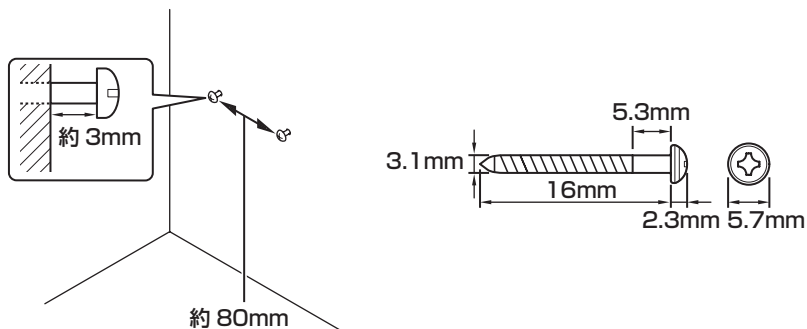
### ⚠ 注意

- 添付のゴム足は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱する恐れがあります。
- ほこり・ゴミなどが添付のゴム足に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- 添付のゴム足をご使用にならない場合には、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

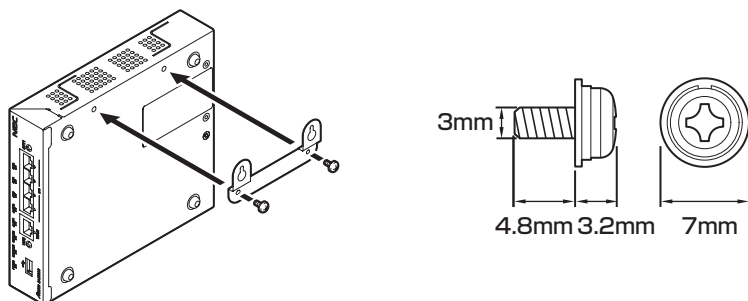
## 壁掛けの場合

(1) 本体を取り付ける位置を決め、木ネジを壁 2 箇所に水平に取り付けます。

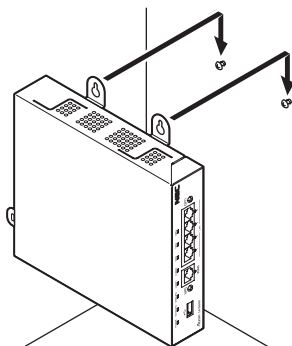
※ 木ネジは、最後まで締め込まず、壁から約 3mm 出るように取り付けてください。



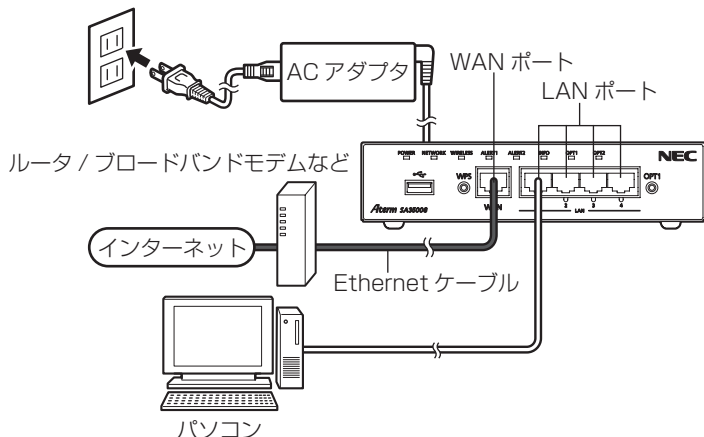
(2) 本体の底面に壁掛け金具を壁掛け金具固定ネジで取り付けます。



(3) 壁に取り付けた木ネジに、本体の壁掛け金具を取り付けます。



## 7. ネットワーク接続



(1) 本製品のWANポートとルータ/ブロードバンドモデムなどのLANポートを添付のEthernetケーブルで接続します。

※ 本製品をはじめて起動するときは、本製品のWANポートにEthernetケーブルを接続せずに電源を投入してください。本製品への(2)～(6)の手順完了後、WANポートにEthernetケーブルを接続してください。

(2) パソコンと本製品のLANポートを接続します。

本製品のLANポートとパソコンをお客様に用意していただくEthernetケーブル(ストレートケーブル、カテゴリ5e以上)で接続します。

(3) ACアダプタと電源コードを接続します。

(4) ACアダプタを本製品のACアダプタ接続コネクタに接続します。

(5) 電源コードを電源コンセントに接続します。

(6) POWERランプが緑点灯していることを確認します。

### ⚠ 注意

本書にしたがって接続してください。  
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

## 8. 初期設定

本製品の初期設定を、下記の手順で行ってください。この設定により、ライセンス契約および保守や修理の対象製品としてアクティベートされます。ただし、ライセンス契約および保守や修理の使用開始日は、本製品をアクティベーションした時点もしくは、納入後 31 日を経過した時点いずれかの早い日とします。

※ アクティベーションとは、セキュリティ・スキャン機能の有効化とライセンスの利用開始を意味します。

ここではブリッジモードでの設定例として説明します。

(1) 本製品の LAN ポートとパソコンを Ethernet ケーブルで接続します。

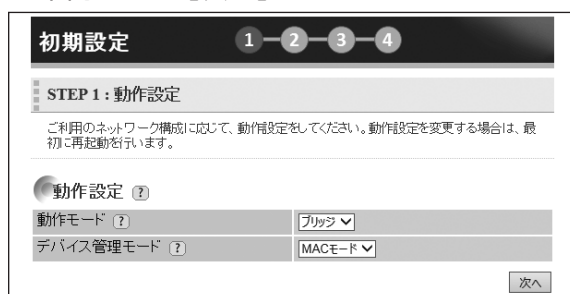
(2) パソコンの IP アドレスを 169.254.xxx.xxx/16 に設定してください。xxx には、1 ~ 254 の整数を設定してください。(169.254.254.11 を除く)

※ パソコンの IP アドレスの設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

(3) Web ブラウザを起動し、アドレス欄に下記を入力して、設定画面を開きます。

http://169.254.254.11/

(4) 動作モードが「ブリッジ」かつデバイス管理モードが「MAC モード」であることを確認して、[次へ] をクリックします。



The screenshot shows a web-based configuration interface titled "初期設定" (Initial Setup). At the top, there are four numbered steps: 1, 2, 3, and 4. Step 1 is highlighted. Below the title, it says "STEP 1: 動作設定" (STEP 1: Action Settings). A message reads: "ご利用のネットワーク構成に応じて、動作設定をください。動作設定を変更する場合は、最初に再起動が必要です。" (Depending on your network configuration, please set the action settings. If you change the action settings, you must restart the device first.) Below this, there is a section for "動作設定" (Action Settings) with a help icon. It contains two rows of settings: "動作モード" (Action Mode) set to "ブリッジ" (Bridge) and "デバイス管理モード" (Device Management Mode) set to "MACモード" (MAC Mode). A "次へ" (Next) button is located at the bottom right of the form.

※ すべての端末を固定 IP で運用されているお客様のみ、デバイス管理モードを「IP モード」でご利用になることを推奨します。デバイス管理モードの詳細は「機能詳細マニュアル」の「デバイス管理」の章を参照してください。

- (5) 設定画面を開くための管理者パスワードを、画面の案内にしたがって決め、画面に入力します。
- ※ パスワードに使用できる文字は、半角文字 0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z, - (ハイフン), \_ (アンダースコア) です。入力可能文字数は、1 ~ 64 です。
  - ※ パスワードは複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。
  - ※ 管理者パスワードは、本製品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
- 忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。(「11. 初期化」参照)

The screenshot shows a web-based setup interface. At the top, there is a progress bar with four steps: 1 (checked), 2 (current), 3, and 4. Below the progress bar, the title is '初期設定' (Initial Setup). The main heading is 'STEP 2: 管理者パスワードの初期設定' (STEP 2: Administrator Password Initial Setup). A warning message in Japanese states: '第三者による不意のアクセスや設定変更を防止するため、管理者パスワードを入力して初めてアクセスできるようになります。パスワードに使用できるのは半角英数字、ハイフン、アンダースコアのみです。名前や生年月日など、他人から類推されやすい単語を用いることは避けてください。' (To prevent unauthorized access or configuration changes by third parties, you can only access after entering the administrator password. Only lowercase alphanumeric characters, hyphens, and underscores can be used in the password. Please avoid using words that are easy to guess, such as names or birth dates.) Below the warning, there is a section titled '管理者パスワードの初期設定 ?' (Administrator Password Initial Setup ?). It contains two input fields: 'パスワード ?' (Password ?) and 'パスワード再入力 ?' (Re-enter Password ?). At the bottom right, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next).

(6) 入力が完了したら、[次へ] をクリックします。

(7) 本製品の接続種別を選択してください。

接続種別は下記 (a)、(b) の 2 種類があります。

(a) 「IPoE (自動取得)」

DHCP サーバーが存在するネットワーク環境で運用する場合

(b) 「IPoE (手動設定)」

固定 IP で運用する場合

※ 本製品は、セキュリティ・スキャン機能を実現するために、サーバーと通信するため、IP アドレスの設定が必要となります。

(a) 「IPoE (自動取得)」の設定方法

「IPoE (自動取得)」にチェックします。

お客様のインターネット接続ネットワークが、プロキシサーバ経由の場合は、以下を設定のうえで、[次へ] をクリックし、手順 (8) に進みます。



- 「プロキシサーバ機能」の「使用する」をチェックし、「プロキシサーバアドレス」を入力します。
- ※ 「http://」または「https://」で始まるアドレスを入力します。ポート番号（必須）はアドレスの最後に「:XXXXX」で指定します。

The screenshot shows the '初期設定' (Initial Setup) screen, specifically 'STEP 3: 接続設定' (STEP 3: Connection Settings). The progress indicator at the top shows steps 1, 2, 3, and 4, with step 3 being the current step. The main heading is 'STEP 3: 接続設定' and the instruction below it says 'ご利用のネットワーク構成に応じて、WAN側の接続種別を指定してください。' (Specify the connection type on the WAN side according to your network configuration). Under the '接続設定' (Connection Settings) section, the '接続種別' (Connection Type) is set to 'IPoE(手動設定)' (IPoE (Manual Setup)). Below this, under the 'プロキシサーバ' (Proxy Server) section, the 'プロキシサーバ機能' (Proxy Server Function) checkbox is checked, and the 'プロキシサーバアドレス' (Proxy Server Address) field is empty. At the bottom right, there are '戻る' (Back) and '次へ' (Next) buttons.

#### (b) 「IPoE（手動設定）」の設定方法

「IPoE（手動設定）」にチェックし、各項目を設定したら、[次へ]をクリックします。

The screenshot shows the '初期設定' (Initial Setup) screen, specifically 'STEP 3: 接続設定' (STEP 3: Connection Settings). The progress indicator at the top shows steps 1, 2, 3, and 4, with step 3 being the current step. The main heading is 'STEP 3: 接続設定' and the instruction below it says 'ご利用のネットワーク構成に応じて、WAN側の接続種別を指定してください。' (Specify the connection type on the WAN side according to your network configuration). Under the '接続設定' (Connection Settings) section, the '接続種別' (Connection Type) is set to 'IPoE(手動設定)' (IPoE (Manual Setup)). Below this, under the 'IPv4アドレス/ネットマスク' (IPv4 Address/Netmask) section, the 'IPv4アドレス,ネットマスク(ビット指定)' (IPv4 Address, Netmask (Bit Specification)) field is empty. Under the 'ゲートウェイ' (Gateway) section, the 'ゲートウェイアドレス' (Gateway Address) field is empty. Under the 'DNSv4サーバアドレス' (DNSv4 Server Address) section, the 'IPv4プライマリDNS' (IPv4 Primary DNS) and 'IPv4セカンダリDNS' (IPv4 Secondary DNS) fields are empty. Below this, under the 'プロキシサーバ' (Proxy Server) section, the 'プロキシサーバ機能' (Proxy Server Function) checkbox is checked, and the 'プロキシサーバアドレス' (Proxy Server Address) field is empty. At the bottom right, there are '戻る' (Back) and '次へ' (Next) buttons.

- IPv4 アドレス / ネットマスク (ビット指定)  
本製品の IP アドレス / ネットマスクを入力する
- ゲートウェイアドレス  
デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力する
- IPv4 プライマリ DNS  
プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力する
- IPv4 セカンダリ DNS  
セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを入力する
- プロキシサーバ機能  
お客様のインターネット接続ネットワークが、プロキシサーバ経由の場合は、「使用する」をチェックし、「プロキシサーバアドレス」を入力する  
※ 「http://」または「https://」で始まるアドレスを入力します。  
ポート番号 (必須) はアドレスの最後に「:XXXXX」で指定します。

(8) 本製品のセキュリティ・スキャン機能無効時の設定を選択してください。セキュリティ・スキャン機能が無効のときにもパケット転送を許可する場合はチェックし、[設定完了] をクリックします。

※ 設定が有効 (転送する) の状態で、かつセキュリティ・スキャン機能が無効の場合、インターネットに接続してパケットを転送すると外部からの脅威を受ける危険性があります。

初期設定

STEP 4: その他の設定

その他の設定を行います。

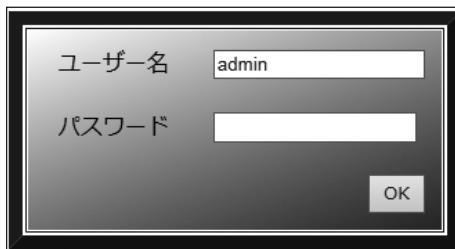
セキュリティ・スキャン機能無効時の設定 ?

セキュリティ・スキャン機能無効時にパケット転送をする

戻る 設定完了

(9) 認証画面が開くので、下記のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ユーザー名	admin
パスワード	手順 (5) で設定した管理者パスワード

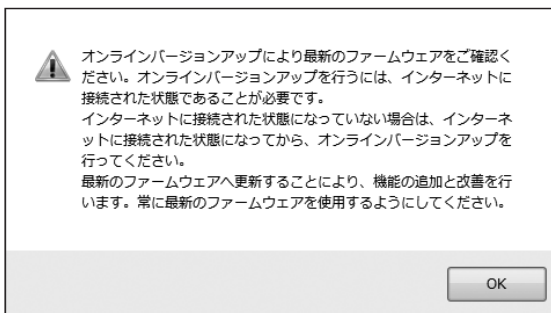


ユーザー名

パスワード

OK

(10) 内容を確認して [OK] をクリックします。



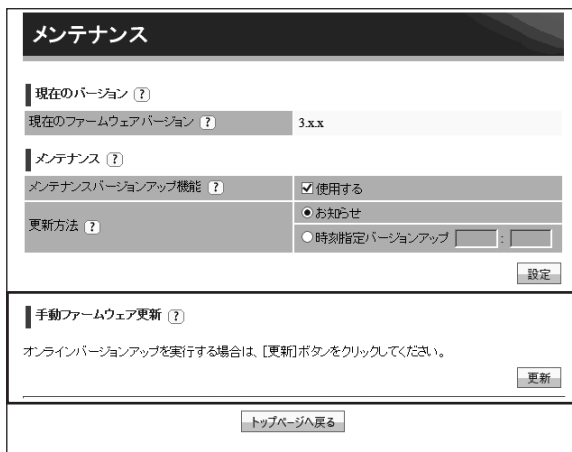
**!** オンラインバージョンアップにより最新のファームウェアをご確認ください。オンラインバージョンアップを行うには、インターネットに接続された状態である必要があります。インターネットに接続された状態になっていない場合は、インターネットに接続された状態になってから、オンラインバージョンアップを行ってください。最新のファームウェアへ更新することにより、機能の追加と改善を行います。常に最新のファームウェアを使用するようにしてください。

OK

メンテナンス画面が開きます。

(11) 新しいファームウェアの有無を確認し、新しいファームウェアがある場合はファームウェアを更新します。

本製品がインターネットに接続された状態である必要があります。ファームウェア更新は、アクティベーション時に自動更新することもできます。



**メンテナンス**

現在のバージョン ?  
現在のファームウェアバージョン ? 3.x.x

メンテナンス ?  
メンテナンスバージョンアップ機能 ?  使用する  
 お知らせ  
 時刻指定バージョンアップ  :

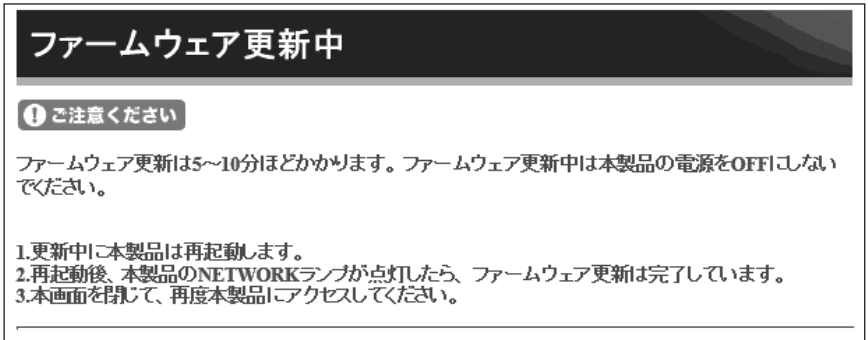
設定

手動ファームウェア更新 ?  
オンラインバージョンアップを実行する場合は、[更新]ボタンをクリックしてください。

更新

トップページへ戻る

- ①「手動ファームウェア更新」の[更新]をクリックします。
- ②「最新のバージョン」を表示するまで、そのまましばらく待ちます。
- ③「最新のバージョン」の数字が新しい場合は、「最新バージョンへ更新」をクリックします。  
「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。
- ④[OK]をクリックします。
- ⑤しばらくすると、ファームウェア更新中の画面が表示されます。



- ⑥更新が完了しても、ファームウェア更新中の画面は切替りませんので、ご注意ください。  
ファームウェアの更新に5分～10分ほどかかります。  
ファームウェア更新中は、本製品の電源を切らないでください。  
ファームウェアの更新が完了すると、本製品は自動的に再起動します。  
再起動するとすべてのランプが緑点灯になります。その後、NETWORKランプが点灯したら、ファームウェア更新は完了しています。
- ⑦ファームウェアを更新中の画面を閉じて、再度本製品にアクセスしてください。

(12)パソコンのIPアドレスを元に戻します。

※ もともとお使いの設定に戻してください。

## 9. アクティベーション

アクティベーションは本製品のセキュリティ・スキャン機能を有効にする処理です。

アクティベーション時、新しいファームウェアの有無を確認し、新しいファームウェアがある場合はファームウェアの自動更新を行います。

新しいファームウェアの更新は、5～20分程度（注）かかります。（ご利用の回線速度により異なります）

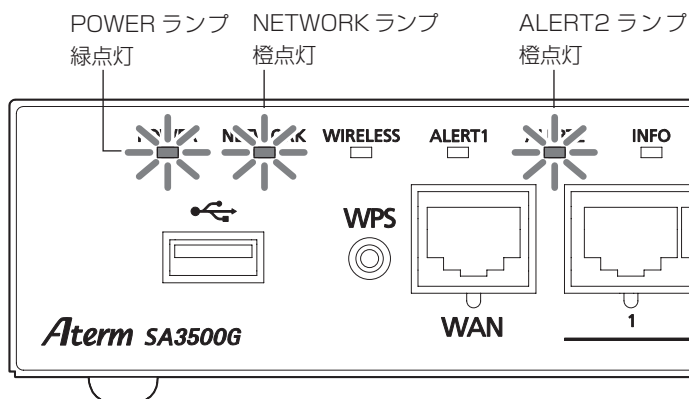
本製品がインターネットに接続された状態であることが必要です。

WANポートからEthernetケーブルが抜けてしまうなどの事由により、10分間インターネットに接続できない状態が続いた場合、ファームウェアの更新処理は中断されます。ファームウェアの更新処理中はWANポートからEthernetケーブルが抜けないようご注意ください。（中断するとINFOランプが橙点灯します。この場合、再度ファームウェア更新を実行してください。

（注）ファームウェア更新にかかる時間の目安：

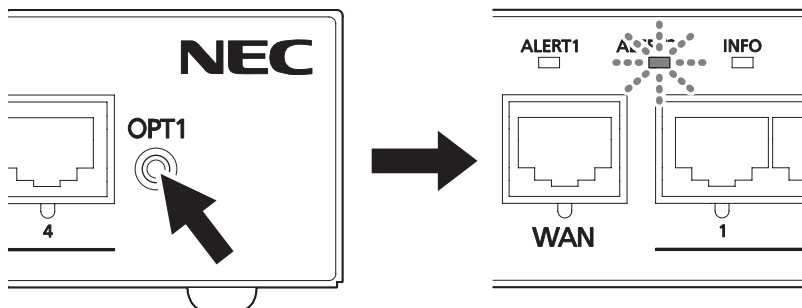
回線速度 500 Kbps のとき	17分
回線速度 1 Mbps のとき	11分
回線速度 5 Mbps のとき	6分
回線速度 50 Mbps 以上のとき	5分

(1) 本製品前面のランプ表示が以下の状態になっていることを確認します。



(2) 本製品前面の OPT1 スイッチ（セキュリティ・スキャン機能用スイッチ）を約 4 秒間押し続けて放します。

※ ALERT2 ランプが橙点滅するときがあります。



(a) 新しいファームウェアがある場合

①ファームウェアの更新処理中は、ALERT2 ランプは緑点滅、INFO ランプは橙点滅します。

ALERT2 ランプ、INFO ランプの消灯後に、本製品は再起動します。ALERT2 ランプが消灯するまで電源を切らないでください。

②本製品の再起動後、ALERT2 ランプ、INFO ランプが消灯することを確認します。消灯すれば、アクティベーション、および新しいファームウェアへの更新処理は完了です。

(b) 新しいファームウェアがない場合

①ALERT2 ランプが消灯することを確認します。消灯すれば、アクティベーションは完了です。

- (3) OPT1 スイッチ (セキュリティ・スキャン機能用スイッチ) を放してから 1 分以上経過しても ALERT2 ランプが橙点灯のままの場合は、ネットワーク環境を確認して (2) からやり直してください。



ALERT2 ランプが橙点灯のままの場合、本製品のアクティベーションに失敗しています。

次のことを確認してください。

- 本製品はインターネット通信できますか？
  - 本製品の NETWORK ランプが橙点灯していることを確認してください。
  - 本製品の上位装置 (ルータ / ブロードバンドモデムなど) の設定を確認してください。
  - 本製品の IP アドレスを設定 Web で設定した場合、本製品の IP アドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスが正しく設定されていることを確認してください。

[こんなときには]

- ファームウェアの適用が完了したか確認する  
「10. OPT2 スイッチでファームウェアを更新する」の章を参照してください。

# 10. OPT2 スイッチでファームウェアを更新する

メンテナンスバージョンアップ機能を使用して本製品のファームウェアを更新します。インターネットに接続された状態であることが必要です。

## (1) 新しいファームウェアの有無を確認します。

本製品の INFO ランプで確認します。

### (a) INFO ランプが橙点灯している場合

新しいファームウェアに更新できます。

### (b) INFO ランプが消灯している場合

本製品の背面にある OPT2 スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で 2 秒以上押し続け、INFO ランプが緑点滅をはじめたら放します。

INFO ランプが消灯したら、新しいファームウェアはありません。INFO ランプが橙点灯したら、新しいファームウェアに更新できます。

## (2) ファームウェアを更新します。

①再度、製品の背面にある OPT2 スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で 2 秒以上押し続けます。

②ファームウェアの更新が始まると INFO ランプが橙点滅します。橙点滅したら、OPT2 スイッチを放します。



本製品の電源は切らないでください。  
故障の原因となります。



③ファームウェアの更新が完了すると、本製品は自動的に再起動します。各ランプがすべて緑点灯したあと、POWER ランプ以外が一度消灯するまでお待ちください。

(POWER ランプ以外は、ご利用状況によって状態が変化します。) ファームウェアの更新に失敗した場合、INFO ランプは橙点灯に戻ります。(本製品は再起動しません。)

※ メンテナンスバージョンアップ機能の初期値は「使用する」です。

※ 設定Webからも更新できます。詳細は「機能詳細マニュアル」の「ファームウェアの更新」の章を参照してください。



- 本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報、ネットワーク情報を当社が運用する管理サーバーに通知します。
- 特定事由により、お客様が意図しないタイミングで、ファームウェアを自動更新する場合があります。ファームウェアの更新が開始されると、本製品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。
- メンテナンスバージョンアップ機能を使用しない場合、新しいファームウェアの有無の確認、およびファームウェアの自動更新を実施しません。

[こんなときには]

●初期設定を行わずにファームウェアを更新する

本製品は工場出荷状態で DHCP クライアントが有効です。DHCP サーバーのあるネットワークに本製品を接続し、NETWORK ランプの橙点灯後に上記の手順を行うことでファームウェアを更新できます。

# 11. 初期化

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して初期値にしたり、ログ情報を消去することをいいます。本製品がうまく動作しない場合や今までとは異なった使いかたをする場合は、本製品を初期化して最初から設定し直すことをお勧めします。

※ 初期化してもご購入後にお客様がバージョンアップしたファームウェアは、お客様がバージョンアップしたバージョンのままとなります。

## 設定 Web で初期化する

- (1) 設定 Web を起動します。（「機能詳細マニュアル」の「本製品へのログイン」の章を参照してください。）
- (2) トップページ の [メンテナンス] をクリックします。
- (3) [メンテナンス] - [設定値の初期化] を選択します。
- (4) [設定値の初期化] をクリックします。
- (5) [OK] をクリックします。

以上で初期化は完了です。

初期化後、本製品は再起動します。

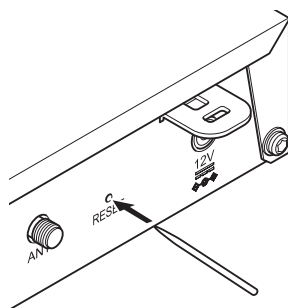
各ランプがすべて緑点灯したあと、POWER ランプ以外が一度消灯するまでお待ちください。

(POWER ランプ以外は、ご利用状況によって状態が変化します。)

# RESET スイッチで初期化する

本製品の RESET スイッチを使って初期化します。

- (1) 本製品の POWER ランプが緑点灯していることを確認します。  
電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約 140 秒お待ちください。
- (2) 本製品の背面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で押し続け、POWER ランプ、NETWORK ランプ、WIRELESS ランプが緑点滅をはじめたら放します。  
POWER ランプ、NETWORK ランプ、WIRELESS ランプが緑点滅するまで約 6 ～ 10 秒かかります



以上で初期化は完了です。  
初期化後、本製品は再起動します。

各ランプがすべて緑点灯したあと、POWER ランプ以外が一度消灯するまでお待ちください。  
(POWER ランプ以外は、ご利用状況によって状態が変化します。)

## 12. USB デバイスの固定について

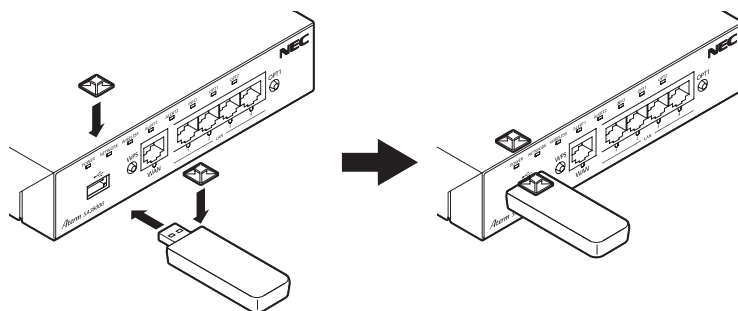
USB ポートから USB デバイスが簡単に抜けられないよう固定するために、USB クランプキット（品番：ZA-SA/UC1）が別売オプションで用意されています。必要に応じてご購入ください。

ケーブルバンドを一度使用すると、取り外すにはニッパーなどで切断する必要があります。

固定具とケーブルバンドによる固定は、USB デバイスが動作できることを確認したあとにご使用ください。

(1) 固定具を USB デバイスと筐体上面にそれぞれ貼り付けます。

固定具は本製品側と USB デバイスとで同じ面になるように近づけて貼り付けてください。

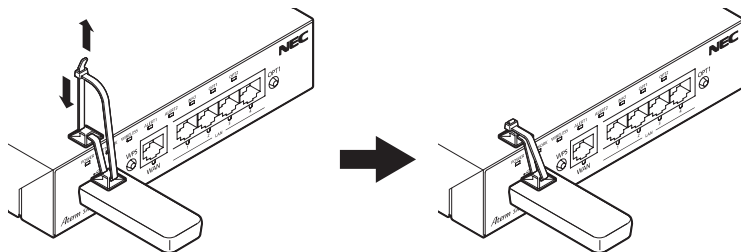


### ⚠ 注意

USB デバイスの形状によっては貼り付けができない場合があります。

(2) ケーブルバンドを取り付けます。

ケーブルバンドを強く引っ張りすぎると、USB コネクタ周辺が破損したり固定具が剥がれる場合がありますので、締め付ける際はご注意ください。締め付け後、ケーブルバンドの余長部分はニッパーなどで切り取ってご使用ください。



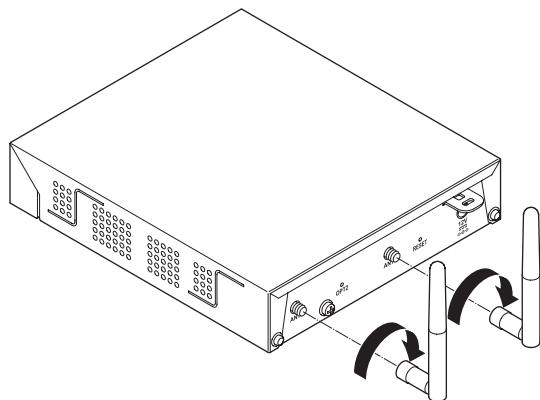
※ USB デバイスを取り外す際は、必ずニッパーなどでケーブルバンドを切断してから行ってください。

## 13. 外付けアンテナの取り付け

(1) 外付けアンテナ（2本）を、本製品のアンテナコネクタ（2箇所）に取り付けます。

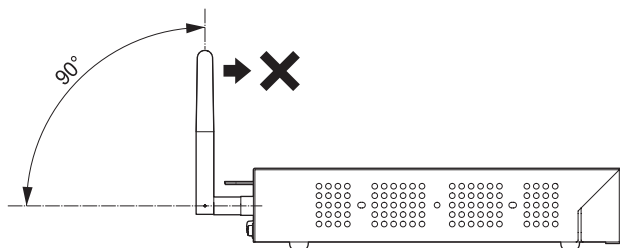
外付けアンテナは接続部分を本製品のアンテナコネクタに挿入し、指でアンテナ接続部分（滑り止めが付いたアンテナ根元部分）を矢印の方向に回して固定してください。なお、外付けアンテナを取り付けるときはペンチなどの工具を用いず、手で取り付けてください。工具を用いますと、取り付け部分に変形し、無線 LAN の特性に影響が出ることがあります。

外付けアンテナを本製品に取り付け後、アンテナを矢印と反対方向に回すと、外付けアンテナの接続が緩んで通信不良が発生する可能性があります。外付けアンテナと本製品の接続が緩んでいないことを確認して使用してください。

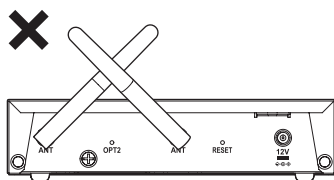


(2) 設置状況に合わせて、アンテナの角度を調整します。

外付けアンテナを 90° 以上傾けると、アンテナ内部のケーブルが切断して通信不良が発生する可能性がありますので、無理に傾けないでください。



- ※ オプションの外付けアンテナ (ZA-SA/AN1) 以外は、使用しないでください。  
外付けアンテナは 2本 1組です。必ず 2本とも接続するようにしてください。
- ※ 工場出荷状態の設定 (初期値) は、内蔵アンテナを使用しています。外付けアンテナを取り付けた場合は、設定 Web で、アンテナの設定を「内蔵アンテナ」から「外付けアンテナ」へ切り替えてください。切り替え方法の詳細は、「機能詳細マニュアル」を参照してください。
- ※ 落下などで外付けアンテナが破損した場合、速やかに外付けアンテナを交換するか、外付けアンテナを外して、アンテナの設定を「内蔵アンテナ」に切り替えてください。
- ※ アンテナは金属などの導電性のものから離して設置してください。感度低下の可能性があります。
- ※ 本製品のアンテナは回転するようになっています。十分な通信特性を得るために、2本のアンテナが交差しないように設置してください。



# 14. 製品仕様

項目		機能	
品名		Aterm SA3500G	
WAN インタフェース	物理インタフェース	8 ピン モジュラー ジャック (RJ-45)	
	ポート数	1 ポート	
	タイプ	1000BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3ab/IEEE802.3u) Auto MDI/MDI-X	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8 ピン モジュラー ジャック (RJ-45)	
	ポート数	4 ポート	
	タイプ	1000BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3ab/IEEE802.3u) Auto MDI/MDI-X	
無線 LAN インタフェース	アンテナ	内蔵アンテナ、外付けアンテナ (オプション)	
	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz (2400-2484MHz) : 1 ~ 13ch
		伝送速度	最大 300Mbps (HT40 の場合)
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz (2400-2484MHz) : 1 ~ 13ch
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz (2400-2484MHz) : 1 ~ 13ch
伝送速度		11/5.5/2/1Mbps	
USB インタフェース* <sup>1</sup>	物理インタフェース	タイプ A コネクタ	
	ポート数	1 ポート	
	タイプ	USB2.0	
動作保証環境		温度 : 0 ~ 40℃ 湿度 : 10 ~ 90% (結露しないこと)	
保管条件		温度 : - 20℃ ~ 60℃ 湿度 : 90%以下 (結露しないこと)	
外形寸法		約 174 (W) x 195 (D) x 40 (H) mm (突起部 / スタンドを除く)	
電源* <sup>2</sup>		100V AC ± 10% 50/60Hz ± 5%(AC アダプタ)	
消費電力		35VA (21W) 以下	
質量		0.9kg 以下 (スタンド、ネジ、ゴム足含まず)	
発熱量		75.9kJ/h=18.1kcal/h 以下	
冷却方式		自然冷却 (ファンレス)	

※ 1 USB 機能の詳細は「機能詳細マニュアル」を参照してください。

※ 2 電源電圧は電源コードに表示の規格値です。



# 15. ソフトウェア使用許諾契約書

NECプラットフォームズ株式会社(以下「当社」といいます)は、当社の Aterm SA3500G(以下「本製品」といいます)に搭載しているソフトウェア(以下「本ソフトウェア」といいます)及び関連ドキュメント(以下「本ドキュメント」といいます)(本ソフトウェアと本ドキュメントを総称して以下「使用許諾物」といいます)を使用する権利をソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)に基づきお客様に許諾し、お客様は本契約にご同意いただくものといたしますので、お客様は本製品をご使用になる前に、本契約書を注意してお読み下さい。お客様が本製品の使用を開始された場合には、本契約にご同意いただいたものといたします。お客様が本契約にご同意いただけない場合には、直ちに本製品の使用をお控えいただき、お支払を証明するものと一緒と同梱の全ての提供品を速やかに買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払済みの代金をお返しいたします。

## 1. 使用権

- (1) 当社は、本ソフトウェアを本ドキュメントに従って、本製品においてのみご使用になる限定的で非独占的且つ譲渡不能な権利をお客様に許諾します。
- (2) 上記の使用権には、以下のことを実施する権利は含まれておりません。
  - (i) 使用許諾物の全体もしくは一部の複製、改変、翻訳、引用又は二次的著作物の作成を行うこと。(ii) 本製品及び本ドキュメントの全体又は一部を、販売、賃貸、貸与、頒布、再使用許諾またはその他の方法で提供すること。(iii) 本ソフトウェアの全体もしくは一部のリバースエンジニアリング、ディコンパイル、逆アセンブルを行うこと又はその他の方法で使用許諾物の全体もしくは一部のソースコードを得ようと試みること。(iv) 使用許諾物に記されている又は埋め込まれている著作権表示、商標表示、又はその他の財産権表示を消し去る、改変する、隠す又は判読し難くすること。(v) 本ソフトウェアの全部又は一部を本製品以外で使用すること。(vi) 本ソフトウェアの全体又は一部を本製品と分離して提供すること。(vii) お客様の商業用ソフトウェアアプリケーションを開発するために本ソフトウェアを使用すること。(viii) 生命維持システム、体内埋込機器、原子力施設や原子力システム、又はその故障が死亡もしくは破局的な財物損害を招くこともあり得るその他の用途において使用許諾物を使用すること。(ix) 第三者に上記のいずれかを実施させ又は第三者に上記のいずれかの実施を許すこと。
- (3) 当社は、事前の書面によるお客様への通知により、お客様による本契約条件の遵守状況を確認する目的で、使用許諾物の使用及び利用状況を監査する権利を有するものとします。ただし、当該監査は、お客様の業務時間中においてお客様の業務の妨げにならない範囲で行われるものとします。

## 2. 知的財産権の帰属

本契約のいかなる規定も使用許諾物及び一切のアップデートプログラム(当社が作成したアップデートプログラムか否かを問いません)に関する無体財産権をお客様に移転させるものではなく、使用許諾物に関する全ての権利は当社又は当社への供給者に帰属します。

## 3. 無保証

- (1) 当社はお客様に対し使用許諾物に係る一切の保証を致しません。
- (2) 当社は、別途お客様との間で締結するソフトウェア保守契約に基づき、使用許諾物のアップデート、機能追加、変更又はバグ修正(総称して以下「アップデート」といいます)をした場合は、かかるアップデートを行ったプログラムまたはアップデートのためのプログラム(以下「アップデートプログラム」といいます)またはかかるアップデートに関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該プログラムまたは当該情報の提供の必要性、提供時期、提供方法などについては当社の判断に基づき決定するものとします。お客様に提供されたアップデートプログラムは使用許諾物の一部を構成するものとします。

#### 4. 契約期間及び契約解除

- (1) お客様は、契約解除日の 30 日以上前に当社に対する書面による通知により本契約を解除することができます。
- (2) 当社は、お客様が本契約のいずれかの規定を遵守しなかった場合、いつでも本契約を解除することができます。
- (3) 本契約の解除後、お客様はいかなる目的のためにも本製品及び本ドキュメントをご使用になれません。第 1 条第 2 項、第 1 条第 3 項、第 2 条、第 3 条、第 5 条、第 6 条、第 7 条、及び第 8 条は、本契約が解除された後も効力が存続するものとします。

#### 5. 輸出

お客様は、日本政府、米国政府、及び関連する外国政府の必要な許可を得ることなしに本製品及び本ドキュメントの全体又は一部を直接的又は間接的に輸出してはなりません。また、外国の規制などには準拠していないため、日本国外で使用することはできません。

#### 6. 責任の限定

当社又は当社の販売店は、本契約から生じる、使用許諾物の使用もしくは使用不能から生じる代替物品もしくは代替サービスの調達コスト、逸失利益、間接損害、特別損害、派生的損害、付随的損害または懲罰的損害賠償金（損害発生につき当社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、いかなる責任も負わないものとします。また、当社又は当社の販売店が損害賠償責任を負う場合には、その法律上の構成の如何を問わず、お客様が支払った本製品の対価のうち使用許諾物の代金相当額をもってその上限とします。

#### 7. 第三者ソフトウェア

本ソフトウェアには第三者から許諾されたソフトウェアコンポーネントが含まれます。これらのソフトウェアコンポーネントには本契約の規定は適用されず、それぞれの使用許諾条件が適用されるものとします。これらのソフトウェア及びその使用条件の詳細は、「[https://www.necplatforms.co.jp/product/security\\_ap/opensource/uTmvhW/sa3500g.html](https://www.necplatforms.co.jp/product/security_ap/opensource/uTmvhW/sa3500g.html)」でご確認ください。

#### 8. 一般規定

- (1) 本契約は、日本国の法律に準拠し、同国の法律に従って解釈されます。
- (2) 本契約に関わる一切の紛争の解決については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。
- (3) お客様は、当社の書面による事前の同意なしに本契約又は本契約上の権利もしくは義務を、任意、法律の運用、その他の態様にかかわらず、承継、譲渡もしくは委任してはなりません。
- (4) 本契約は、本契約の対象事項に関する当社とお客様との間の完全な合意を規定するものであり、従前の一切の了解、合意、意図の表明又は了解覚書に代わるものとします。
- (5) The Software is a "commercial item" as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation" as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, NEC Platforms provides the Software to U.S. Government End Users only pursuant to the terms and conditions therein.

#### 9. ご連絡先

「16. お問い合わせ先」の「Aterm Biz インフォメーションセンター」へお問い合わせください。

# 16. お問い合わせ先

(2020年10月現在)

## 製品サポートについて

[https://www.necplatforms.co.jp/product/security\\_ap/](https://www.necplatforms.co.jp/product/security_ap/)

Aterm SA3500G についてのサポート情報、マニュアルのダウンロードなど、役立つ情報を掲載しています。

製品の機能や取り扱い方法などでご不明の点がありましたら、Web からお問い合わせいただくこともできます。Web からのご質問は、上記ホームページの「Web からのお問い合わせ」をご利用ください。

※ サービスを停止させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。



## 【個人情報のお取り扱いについて】

当社では、個人情報保護ポリシーを制定し、お客様の個人情報保護に努めております。お客様からご提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報は、お客様への連絡やお問い合わせにお答えするために取得し、他の目的に利用することはありません。また、お客様の承諾なく第三者へ個人情報を提供することはありません。ただし、業務を委託するために業務委託先に個人情報を開示する場合があります。その場合には秘密保持条項などを含む契約を締結したうえで委託し、個人情報を適切に管理します。個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合は、NECプラットフォームズ株式会社 Aterm Biz（エータームビズ）インフォメーションセンターまでお願いいたします。

## 機能詳細マニュアルについて

「機能詳細マニュアル」では、本製品の詳細な機能について説明しています。Web ブラウザを起動して、下記の URL から参照してください。

また、「機能詳細マニュアル」は、パソコンなどにダウンロードし、オフラインで閲覧することができます。必要に応じて下記の URL のサポートページからファイルをダウンロードしてください。

[https://www.necplatforms.co.jp/product/security\\_ap/manual.html](https://www.necplatforms.co.jp/product/security_ap/manual.html)

# MEMO

# MEMO

販売店

